

デフレスパイラルと世界経済という潮流における未来予測

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

過去30年におけるデフレスパイラルは、生活の向上と変化を与えたのである。しかし世界の物価基準と趨勢は、グローバル基準という新しい現実を日本へ突きつけるのである。

これらはグローバル基準における新しい現実への転換は不可避であると考え。これらは給与物価において同一基準における現実の転換が与えられることは真実であると考え。

これらは、世界経済が密接にリンクしていることにおいてそれら変化は与えられると考え。これらは賃金と物価価格において経済戦争という現実における勝者と敗者が存在することは明白である。

これら判断が真実を有するならば、このグローバル基準という洗礼は、国内における現実を完全に2分化するのである。これは勝ち組と負け組の振り分けである。

また国際金融資本の資本力は、その資本力において新しい現実を模索していることは真実なのである。これらはグローバル経済の基盤であり、それを否定することは経済そのものを否定することなのである。

低金利は、海外への資金の流出を与えるものであり、企業において、その現実における判断は新しい次世代における製品サービス基準であり、これらは低金利における解決できないのである。これらは競争原理と自由経済システムにおいて、新しいグローバル経済における現実は、明らかに自己の変化を有するのである。

これらは政府における経済政策において、完全な転換を要求されることを意味する。経済は決して目的でなく手段なのである。これらは社会政策と経済政策の転換が、解決を与えることができることを意味するはずである。

これら経済政策は、グローバル経済に対して、その独立性を経済と資本において求めることを提案したい。これらは新しい経済システムと環境を再度構築することにおいて実現できると考える。